

私の未来の話をしましょう。



食品トレー・容器を再生して、活かし続ける。
プラスチックの使用量を減らしていく。

食品トレーや容器など、多くのプラスチックを扱うエフピコにとって、
「脱プラスチック」の世界的な流れは、決して見過ごせない課題です。

しかし、その形状や機能の多様性、耐久性、経済性など、
さまざまなメリットがある数々のプラスチック製品によって、

日々の生活が支えられているのも事実。エフピコは考えます。

「脱プラ」の潮流の要因は、環境汚染につながる私たち人間の使い方にある、と。使用済みのプラスチック製品を分別し、適切に再生して、
何度も使用できる社会にしていくこと。永く活かし続けていくこと。

私たちは、30年以上にわたって取り組んでいるトレーからトレーへ、
ペットボトルから透明容器へと、繰り返し資源を使う循環型リサイクルを
未来へ向けてさらに拡げていきたいと思っています。またリサイクルの現状を
知っていただくために、1990年から進めている全国のリサイクル工場
の見学者数は累計50万人を突破。小学生、一般のお客さま、マスメディア、
自治体のみなさまなど、さまざまな方にお越しいただいています。

そして、今まで難しかった、色・柄トレーの再生も新たな技術で実現。

さらには、日本初となる低発泡ポリスチレンの成形新技術による軽量化で、
プラスチック使用量の大幅な削減も実現しました。広く社会のみなさまに
私たちの取り組みをご理解いただき、さらなる持続可能な社会へ向けて、
グループの力を結集して挑戦、前進し続けていきます。

**TRY
the TRAY**

食品トレー・容器で未来を創る。



私の未来の話をしましょう。

食品トレー・容器を再生して、活かし続ける。
プラスチックの使用量を減らしていく。

食品トレーや容器など、多くのプラスチックを扱うエフピコにとって、
「脱プラスチック」の世界的な流れは、決して見過ごせない課題です。

しかし、その形状や機能の多様性、耐久性、経済性など、
さまざまなメリットがある数々のプラスチック製品によって、
日々の生活が支えられているのも事実。エフピコは考えます。

「脱プラ」の潮流の要因は、環境汚染につながる私たち人間の使い方
にある、と。使用済みのプラスチック製品を分別し、適切に再生して、
何度も使用できる社会にしていくこと。永く活かし続けていくこと。

私たちは、30年以上にわたって取り組んでいるトレーからトレーへ、
ペットボトルから透明容器へと、繰り返し資源を使う循環型リサイクルを
未来へ向けてさらに拡げていきたいと思っています。またリサイクルの現状を
知っていただくために、1990年から進めている全国のリサイクル工場の
見学者数は累計50万人を突破。小学生、一般のお客さま、マスメディア、
自治体のみなさまなど、さまざまな方にお越しいただいています。

そして、今まで難しかった、色・柄トレーの再生も新たな技術で実現。

さらには、日本初となる低発泡ポリスチレンの成形新技術による軽量化で、
プラスチック使用量の大幅な削減も実現しました。広く社会のみなさまに
私たちの取り組みをご理解いただき、さらなる持続可能ないい社会へ向けて、
グループの力を結集して挑戦、前進し続けていきます。

**TRY
the TRAY**

食品トレー・容器で未来を創る。

